

現代社会研究

Contemporary Society

*Faculty for the Study of Contemporary Society,
Kyoto Women's University*

Vol. **2**

November 2001

京都女子大学
現代社会研究

第 2 号

現代社会学部

論文

震災、そして五年語るべき芸術……………	野田 正彰…	5
戦後日本における文化運動と歴史意識……………	竹村 民郎…	15
スリランカにおける出生過程の分析……………	西村 教子…	31
遺伝子の特許化と現代社会……………	山名 美加…	45
環境基本計画の環境目標達成状況に対する評価段階の市民参加と指標体系のあり方 ……………	榎村 久子…	59

研究ノート

現代教育論ノート（その2）……………	加茂 直樹…	77
浜松の企業と風土の研究（その1）……………	伊藤 正憲…	93

公開講座報告

臨界事故—この一年を検証する—……………	小波 秀雄…	107
21世紀、東アジアの共生—芸術と政治が語る現場—……………	柴山 哲也…	111

書評

加茂直樹編『社会哲学を学ぶ人のために』……………	初瀬 龍平…	117
嘉本伊都子著『国際結婚の誕生—<文明国日本>への道』……………	南野 佳代…	125

Abstracts ……………		137
------------------------	--	-----

学部紀要刊行規程

○刊行基準

1. 京都女子大学現代社会学部紀要の編集発行責任者は現代社会学部長である。
2. 現代社会学部紀要のタイトルを、「現代社会研究」（以下、「紀要」と称する）とする。
3. 紀要は原則として年2回刊行する。2001年度発行日は、以下のとおり。
11月30日刊行（第2号）
2月28日刊行（第3号）
4. 原稿募集締切は、2001年度は以下のとおり。
7月31日締切（第2号）
11月30日締切（第3号）
5. 2002年度原稿募集締切は、以下のとおり。
4月30日締切（第4号）
9月30日締切（第5号）

○投稿者の資格

京都女子大学現代社会学部紀要「現代社会研究」に投稿出来る者の資格を、次の通りとする。

1. 京都女子大学の専任・非常勤教職員
2. 紀要委員会が適当と認める者

現代社会研究 第2号

2001年11月30日

発行 京都女子大学現代社会学部

〒605-8501 京都市東山区今熊野北日吉町35番地

電話：075-531-9122 FAX: 075-531-9124

Email: bulletin@cs.kyoto-wu.ac.jp

Web: <http://www.cs.kyoto-wu.ac.jp/>

編集委員長 柏岡富英

委員 飯田哲也

江口聡

澤敬子

南野佳代

印刷 有限会社 トヨタ印刷企画

表紙デザイン 小波秀雄
